

平成29年度 第4回帯広市総合計画策定審議会 議事概要

日 時 : 平成30年3月28日(水) 18:30~20:55
場 所 : 帯広市役所10階第5B会議室
出席委員 : 金山会長、小山職務代理者、有塚委員、一柳委員、氏委員、河野委員、柴田委員、日月委員、村田委員、山田委員、渡辺委員(以上11名)
説明員 : 安達政策推進部長、中里政策推進部企画調整監、石井企画課長、(事務局) 西尾企画課副主幹、中西企画課主査、畠山企画課主査、高橋企画課主査、千葉企画課主査、今井企画課主任補、土田企画課主任補
傍聴者等 : 報道関係者1名
配付資料 : 会議次第、委員名簿、質問・意見シート、資料1~5、答申書(平成20年8月)、参考資料1~11

◆会議次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 新しい総合計画の策定について
 - ①総合計画策定審議会の進め方について
 - ②アンケートの調査結果について
 - ③時代の潮流について
 - (2) その他
3. 閉会

◆議事概要

【事務局】 本日は、委員15名中、9名の委員が出席(18:30時点)し、過半数に達しているので、帯広市総合計画策定審議会条例第6条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。

ここからの議事進行は金山会長にお願いします。

【会長】 それでは、本日の議題について、次第に沿って進めていきたい。はじめに、(1)「新しい総合計画の策定について」の①「総合計画策定審議会の進め方について」を議題とする。事務局から説明願う。

— 資料 1、2 及び答申書（平成 20 年 8 月）により事務局説明 —

【会 長】 ただ今の説明について、質疑を行う。意見、質問等あれば、発言いただきたい。

【委 員】 用語解説については、同一ページ内での記載をお願いしたい。
また、この総合計画を一番活用しているのは誰なのか、伺いたい。

【事 務 局】 総合計画には、行政が様々な事業を行うための基本的な考え方や方向性が記されていることから、一番は行政が利用していると言えるが、まちづくりは行政のみでできるものではなく、市民の役割もあることから、市民の皆様にも、活用いただきたいという主旨で作成したものである。

【会 長】 用語解説については、総合計画作成時に工夫したい。

【委 員】 総合計画作成にあたって、庁内ではどのような体制で進めていくのか、伺いたい。

【事 務 局】 庁内では既に検討を始めており、昨年 9 月、庁内各部に対して 10 年先を見据えた施策や課題などの検討を依頼したところ。

【会 長】 他になければ、次に、②「アンケートの調査結果について」を議題とする。事務局から説明願う。

— 資料 3、4 により事務局説明 —

【会 長】 ただ今の説明について、質疑を行う。意見、質問等あれば、発言いただきたい。

【委 員】 今後、アンケート項目に、まちづくりに対して自分が出来ることを自由記述で書く欄があると良い。高校生などは発想が豊かなので、面白い意見が出ると思われる。

【委 員】 アンケートでは、将来のまちづくりの方向性として、「安全・安心」を重視する意見が多いことから、本審議会では、安全安心なまちづく

りに向けた議論を進めるべきと考える。

【委員】 人口減少に対する回答として、市民と中高生とで違いが生じているのが気になった。違いが生じている要因をどのように捉えているのか。

【事務局】 今後、人口減少は避けられない問題であるが、若い年代ほど、将来に対して前向きに捉えているという結果とも考えられる。

【会長】 人口減少については、十勝は比較的恵まれているが、北海道全体では大きな課題である。特に、若者の流出が課題。今後、帯広市として人口減少をどのように捉えるか、議論していきたい。

【委員】 高校の同窓会会報にあったアンケートで、将来帯広に戻って就業したいかという問に対して、約7割が「いいえ」との回答であり、その理由として、自分のやりたい仕事がない、職種に対するイノベーションが足りない、とのことであった。技術を身に付けても、それを発揮する場所がない、どこで発揮できるか分からない、ということが問題と考える。

【委員】 高齢化率の上昇に伴い、介護施設職員は人手不足で危機感を感じている。今後、人口減少社会を迎える中、健康でやすらぐまちづくりを進めるために、若い世代がどのようにしたら活躍できるか、若い世代に投げかけることも大切ではないか。

【委員】 「自立と協働のまち」に関する自由意見で、ふるさと納税の効果的な実施、とあるが、帯広市の魅力をPRする返礼品として、どのようなものが良いか、市民から意見を伺うことも効果的と考える。

【会長】 他になければ、次に、③「時代の潮流について」（前半）を議題とする。事務局から説明願う。

— 資料5（1.～3.）及び参考資料により事務局説明 —

【会長】 ただ今の説明について、質疑を行う。意見、質問等あれば、発言いただきたい。

【委員】 帯広市の若年女性の自殺死亡率は全国平均より高いと聞いた。要因は様々あるだろうが、若い女性が失望する社会の仕組みがどこかにあるのではないかと。アンケート結果にもあったが、男女共同参画に対する意識が、帯広市はかなり低い。給料が最も顕著であり、男性に比べ女性はかなり低い。仕事の質や能力に応じた評価がなされるべきであり、そのような社会にしていくべき。

【事務局】 帯広市の生産年齢人口は、10年後には約2万人減る推計であり、人生100年時代といわれる中で、女性や高齢者の労働力をどのように活用していくか、そのための障壁をどう除くかという視点は非常に重要になると考える。

【会長】 帯広畜産大学の学生数は男性より女性の方が多く、男女共同の意識も変わってきていると感じている。

また、少子化の中では子育てへの男性参画が大切と言われており、近年、子育てへの男性参加が増えてきているように感じる。

【委員】 我が家は子ども3人で、まだ手が掛かっているが、農業を営んでいるため、子育ても仕事も妻と一緒にできる状況にある。

【事務局】 補足であるが、現在の総合計画における成果指標の一つとして、審議会委員等における女性登用率4割を掲げているが、本審議会は、ちょうど4割となっている。

【委員】 男女共同に関しては、高齢の女性が若い女性の足を引っ張っている部分もある。意識改革を男性だけに求めるのではなく、今後増えていく高齢女性にも求める必要がある。

【委員】 人口減少に関する帯広市としての具体の対策については、どこで誰が話し合うものなのか。

【事務局】 人口減少に対する基本的な考え方については、総合計画策定審議会の中で議論していきたいと考えている。

【委員】 今までの総合計画では人口目標が明示されていたが、国の人口推計や、市民と中高生とで人口展望の捉え方に違いがある中、人口目標については、どのような議論して、どのように決めていくのか。

【事務局】 人口については、市街化区域を広げて都市基盤のインフラ整備を行

っていた時代と、人口減少時代を迎えた現代とでは、位置づけが大きく異なる。人口については、様々な分野に影響してくる問題なので、分野毎の検討を行う際、人口という切り口で、都度議論いただければと考えている。

【会 長】 新しい総合計画に想定人口を記載するのか。

【事 務 局】 今後議論の中で検討していくことになるが、本審議会では、総合計画に対する人口の持つ意味、人口に対する考え方を議論いただければと考えている。

【会 長】 人口を予測することが目的ではなく、今後施策を検討するに当たり、帯広市の人口に対するおおよその見通しを委員の共通認識として把握しておいた方が良いのではないか。

【会 長】 次に、③「時代の潮流について」（後半）を議題とする。事務局から説明願う。

— 資料5（4.～6.）及び参考資料により事務局説明 —

【会 長】 ただ今の説明について、この場で確認したいことがあれば、発言いただきたい。

【委 員】 スマートフォンは、キャッシュレス支払や生存確認ができるなど、今後、益々重要になってくると思うが、依然として、苦手意識を持つ高齢者も少なくない。よって、高齢者が、スマートフォンをある程度使えるようになるための勉強の機会が欲しい。町内会単位で講習会を行うなど、一歩踏み込んだ高齢者へのアプローチが必要ではないか。また、ネットワーク化の進展、情報化社会に即した高齢者へのアプローチについて、資料5の時代の潮流とまちづくりの課題の中に入れられないものか。

【事 務 局】 国で実施している「人生100年時代構想会議」の中でも、リカレント教育について議論されており、まさに今の委員の話と呼応する。

【事 務 局】 委員からご指摘いただいた視点は、資料5の4. 3つ目の○に記載している。

【委 員】 この部分は、内容が漠然としている。情報化社会が、もっと身近な

ものであるということを、より直接的に記載すべきではないか。

【会 長】 今回は、文言の検討までは行わず、諮問後に、時代の潮流とまちづくりの課題について検討する機会を設けるので、その際に改めて議論いただきたい。

【委 員】 先ほども話にあった、スマートフォン等の通信機器であるが、通信には高額な費用が掛かり、使うには知識が必要であることから、お金や知識が無い人に対して、「まち」として何ができるのか考える時なのかと思う。

【委 員】 市民は何事にも公共的なものを求めすぎている風を感じている。計画の中で「共助」をもっと強調できないか。

【会 長】 最後に、(2)「その他」について、事務局より説明願う。

【事 務 局】 審議会の中でお話できなかった質問や疑問があれば、本日配付した「質問意見シート」に記入のうえ、事務局まで提出いただきたい。いただいた質問等に対しては、次回審議会でも回答したいと思うので、遠慮なくお寄せいただきたい。

【会 長】 以上をもって、本日の会議を終了する。

以上